

## 令和3年度 第1回 伊賀市多文化共生推進プラン委員会 議事概要

日 時：令和3年11月22日(月) 午前10時～午前11時35分

場 所：ハイトピア伊賀4階多目的室

出席者：オチャンテ村井委員、和田委員、井上委員、西岡委員、辻岡委員、尾登委員、峰委員、  
上出委員、森永委員、重山委員、船見委員、グエン委員、竹井委員、金谷委員  
(欠席：福永委員)

内 容：

### 1. あいさつ

- 澤田部長あいさつ
- 会議資料の確認
- 委員紹介、あいさつ
- 事務局紹介、あいさつ
- 傍聴、会議録公開について

### 2. 委員長、副委員長の選任

- 委員からオチャンテ村井委員、西岡委員を推薦
- 異議なしの声
- 委員長にオチャンテ村井委員、副委員長に西岡委員を選出
- 委員長、副委員長あいさつ

### 3. 多文化共生推進プランの策定について

#### (1) 伊賀市多文化共生指針の概要と推進プランについて

- 資料1、資料1-2の説明(事務局)

〈質 疑〉

委員長 指針の基本理念と1年間の流れ、スケジュールについて事務局から説明があったが、委員の皆様からご意見、ご質問などはないか。

1年かけて5回集まるということで良いか。

事務局 目安として5回ぐらいと考えている。今、説明をさせていただいて、今回は第1回目だが、その後アンケートをとっていく内容となっている。それと、庁内委員会、市役所の各セクション、福祉や教育などいろいろな課があるが、そういったところが所管している福祉計画や教育大綱、国土強靱化計画などいろいろなものがあるので、その辺りとの整合性も図りながら進めていく。第2回である程度の骨子案をお示しした中で、ある程度これで良いとなれば、それに基づいて肉付けをしていく、施策を考えていくといった作業になると考えている。だいたい1年半、議会等もあるので、そういったタイムスケジュールになるのではないかと考えている。

委員長 他によろしいか。この後アンケート調査の議事もあるので、とくになければ先に進めたい。オンラインの委員の皆様も良いか。

(2) アンケート調査(案)について

○資料2-1、資料2-2の説明(事務局)

〈質 疑〉

委員長 日本人向けのアンケート案と外国人向けのアンケート案の説明をいただいた。いくつか変更点があったということだが、委員の皆様から何でも良いのでご意見をいただきたい。

委員 日本語力を問うとき、この問は大事だと思うので良いと思うが、例えば、「会話がすべて理解できる」とあるが、会話がどういうシチュエーションかによってだいぶひらきがあるように思う。例えば、テレビでニュースがすべて理解できるなど。どのような会話かということの記述があるようなアンケートも見たことがあるので、もしあれば記述いただきたい。やさしい日本語で会話してもらえばすべて理解できるという人もいるし、もう少し具体的にどういう会話かというアイデアがあれば良いと思う。具体的なものとしてニュースなどしか思いつかないが、お願いしたい。

委員 日本語能力をアンケートで測定するのはかなり無理がある。無理を承知でやるとして、例えば、「聞く」であれば、「市役所に行って市役所の人言っていることがわかる」にチェックを入れるとか、「一人で市民病院に行ってお医者さんの説明が聞ける」とか、具体的なものを並べておいて、この場面では私は可能だということで、複数回答で選べるようにし、それで理解度何%などの円グラフを出した方が、おそらく実態がわかると思う。なぜ具体的な方が良いのかというと、そういう場面で困っているから具体的に施策を打とうということであるから、その方が良いと思う。どの場面で「聞く」の一番困っているから、このような手立てをすると外国人でも一人で市役所に来ることができるということがわかってくるのではないか。そうすると良いのではないかという気がした。

委員 ここに、(通訳が必要)、(翻訳が必要)などが入れているが、このような括弧書きは入れないほうが良いと思う。私は通訳として仕事をしているが、もしこれが入っていると、自分は通訳が必要だと思って全員そこにチェックしてしまう可能性は高いと思う。なぜなら、私が通訳をしている人の中でも、結構日本語がわかる方もたくさんいるが、自信がないから通訳が必要と言ってしまう。検査のためなら行けるけど、検査結果は無理という方もいるので、通訳が要るか要らないかというのは入れないほうが良いと思う。先ほどの例のように、このような状況であればできるとか、具体的に入れたほうがわかりやすいと思う。

委員長 「通訳が必要」というのは確かにそこに最終的にいってしまうので、あえて載せないという選択もあるかと思う。

事務局 「聞く」のところはとくに設問を変える方向で相談させていただく。

委員長 確かにアンケートは具体的にしていってほしいと思うので、お願いしたい。

委員 次の3の問29「どのような交流機会があるか」という設問で、

①②③は良いが、④の「ボランティア活動や地域の行事に参加してほしい」というのは、日本人に参加してほしいと言う意味か。日本人のほうでも同じアンケートがあるが、そこも「参加してほしい」になっている。日本人のほうを見たときは、外国人にも「参加してほしい」となっているので、逆と考えると、日本人に「参加してほしい」なのか、ここは「参加したい」なのか、どちらか。

事務局 地域のものか、外国文化の中でのボランティア活動なのかということで違ってくる。

委員 どういう場面のことを言っているのかがわからない。日本人向けのところを見ると、④はボランティア活動や地域の行事に外国人にも来てほしいと捉えられる気がする。外国人向けのほうは「参加したい」になるのではないか。結果として同じであればそういうことになる。

委員 文法的にはそうである。

事務局 そのように修正をさせていただく。そうすることで意思疎通が図れると思う。

委員 8ページの問33「地域活動に参加していますか」のところで、①の地区の役員というのは、まちの役員ということで想像はつくかもしれないが、ただ、自治会のことを知らない人が調査結果では60%だった。日本に長く住んでいる人はだいたいわかると思うが、外国の人はわかるのかというのと、参加していればわかるので良いと思うが、②の「地区活動に参加」というところで、「地区活動」というものが具体的にわかったほうが良いと思う。「役員」は参加していれば「地区の役員」だとわかると思うのでこのままでも良いが、②の「地区活動」は、例えば防災訓練など、と1つでもあっても良いのではないかと思う。防災だけに限らないが、子ども会などいくつかあれば良いのではないか。清掃活動や何とかを見に行く会、まちでやっているイベント、夏祭りなどもそうである。例が難しいが。

事務局 地区がそうである。組と言ってみたり、自治協議会と言ってみたり、幅が広すぎる。

委員 学校でも外国籍の方がかわって来られたときに説明するのに、PTA活動と自治活動、まちの催し物など、どこが主催か理解してもらえないことが多い。たぶんこの形にしていると、地域の活動に参加、地区活動に参加とは何を言っているのか、学校の奉仕作業のことを言っているのか、まちの奉仕作業や祭りのことを言っているのか、それは向こうで言えばボランティアに入るので、ボランティア活動なのかわかりにくいのではないかと私も思った。

事務局 「あなたは今、地域の活動に参加していますか」という問だが、地域にはいろいろな活動があると思う。地区、PTA、ボランティアの3つに分けられると思うが、実際、外国人にとってはわかりにくい。地域活動であれば地域に特化した住民自治協議会や地区、上2つのそういったところを整理して、学校活動はPTA活動、そのようにしたほうがわかりやすい。その辺も分けられるべきかどうかも含めて相談したい。

事務局 学校での活動としたほうがわかりやすいか。

委員 例えば⑧に「わからない」という選択肢があるといけないか。そういうことを訊

かれてもわからない、そういった地区や PTA に参加しているかどうかともわからない、わからないが多いということは、そもそも地域活動や PTA などの概念や紹介が足りないということがわかるのではないか。

委員 通訳を学校のことについて頼まれるとき、こういった PTA 関係や学校活動などの書類のことを聞くと、「それは外国人には難しいからほっといていい」と言われる。だから、わからない外国の方は多いと思う。PTA の場合は、PTA に参加するかと聞かれると、日本語が必要だと参加しないという人が多い。詳しく入れてもいいが、詳しく入れてもわからない可能性もあると思う。そこは難しいと思う。

委員 地域の回覧板がまわっていない外国人は多い。地区の中のイベントがあっても知らせていないことが結構あると思うので、わからなくて参加したことがないということになってくる。

委員長 「地区の行事に参加したことがありますか」「どんな行事があるか知っていますか」など、さらに具体的になってしまう。

委員 だから、⑧に「わからない」はどうか。

事務局 「わからない」という選択肢も入れさせていただく。しかし、しっかり地域の活動に参加されている方もいると思うので、そこはどこまでの参加度があるのかということも訊かせていただく。選択肢を増やす形で対応したい。画面上、例を入れられるようであれば、これは紙だが、実際は QR コードを読んでインターネットでボタンを押していくような形になるので、押すのはこの「地域活動に参加」というのを押すが、その下に但し書きでお祭りなど画面上入れることはできるので。紙にすると複雑なのであっさりになっているが、そこは加えられると思っている。

委員 「参加していますか」となっているのに、先ほどの「わからない」と同じようなことだが、「参加したことがない」は入れなくて良いのか。「参加していますか」に「参加したことがない」、「参加してみたいと思いますか」に「参加したくない」を入れるのはどうか。

事務局 「参加したことがない」は良いと思うが、「参加したくない」はそれを深掘りしていかなければならなくなる。そうすると設問意図が変わってくるので、一旦は参加してもらえようにもっていきたい。

委員長 「わからない」と「参加したことがない」を入れてはどうかということだが、追加できるか。

事務局 項目については、つくる方向でいくのであれば一度協議させていただく。住民自治協議会や地区の自治会の活動自体をたくさんの外国人が知らない実情はおっしゃっていただいたとおりである。ただ、中には地域の活動に参加したいという外国人の方も多いので、その辺りをマッチングするためにもバックデータもあればということでもらせていただいている。項目は整理させていただき、「わからない」、「参加したことがない」もできるように伝えさせていただく。設問のところ「あなたは今、地域の活動に参加していますか」に、例えば、地域

の活動や学校活動、ボランティア活動などいろいろあるが、そういったものも含めたように、「地域や学校などの活動に参加していますか」など、そのようにまとめさせていただいても良いか。長いのであれば「地域等の活動に参加していますか」など、項目を変えた方が良いと思う。修正させていただければと思うので、それをお願いしたい。

委員 子どもの教育に関係する設問は、今回はあえてしていないのか。それを深掘すると1個2個では済まないからなのか、少し訊けたら訊いたほうが良いのではないか。多文化共生の地域のまちづくりについては、未来の子どもたちのことは大きな課題である。我々NPOでは早く施策を打っていかないとと思うところではある。それを訊きだすと、仕事のこともとなるとは思うので、あえて訊いていないのかとは思いますが、もし見解などがあれば訊きたい。方向性や今後どうするのかなど、施策を打つときには大事なことだと思う。

事務局 おっしゃるように教育は重要な要素の1つである。日本語力の項目でどのぐらいの方がどのぐらいのレベルでやっているのか、それをバックデータにして、そこから何が足りないのか、そういったことで進んでいくと思う。その上で、教育だけに特化したもっと詳しいものは必要になってくるが、まずは入り口として、外国人の基礎データの的などところにとどめているということである。

事務局 外国人アンケートにあるような、子どものことで一番心配なことはありますかという間で、学力のこと、進路のこと、といったことを訊かせていただいた項目がある。これは18歳以上の方を対象にアンケートを出す、子どもがいる世代の方に答えていただくのであれば、子どものことで心配なこと、学校のことになるが、子どもと先生とのコミュニケーションのことや、親と先生とのコミュニケーションのことなどで心配はないかというような設問の仕方をしたことがある。心配事について訊くというのは以前からしている項目があるので、ここに入れてもできると思う。

事務局 協議していく中で、次の段階で、委員がおっしゃるように、もっと深掘りしなければならぬものがあると思う。その場合は次の段階でアンケートをとることも可能である。そういった手法もあるということである。

委員 「心配事は何かありますか」という項目の中に、仕事や子どもの教育、コミュニケーションなど、以前からとっているアンケートにあるのであれば、もしそこに同じ設問を1つ入れるだけで可能であれば、比較も変わってくると思う。ボリューム的に可能であれば、子どもというのはたくさん出るのか、現状と親の認識は違うかもしれないが、それでもやはり必要な指標だと思う。

委員長 事務局、どうか。1つ項目を追加するか、1年の間にまたさらにアンケートをとっていくという形になるのか。

事務局 必要に応じて、何回もは難しいが、今回一旦とって、ある程度シミュレーションをした中で、もう少し深掘した方が良いのではないかという項目はいくつか出てくると思うので、そのタイミングでとれたらと思う。ただ、おっしゃるように1項目入れることは可能なので、入れる方向で進めたい。

委員長 将来に対する不安はあると思う。仕事のこと、非正規のままで今後どうなるか、定年後はどうなるか、子どもの将来の心配などもあると思う。5年後、10年後の不安など、その中でおそらく子どものことも出てくると思う。現在のことも大事だが、将来に対してどう考えているかということには意味があると思う。

事務局 今回については、入れるということで進めたい。

委員長 他にご質問はないか。  
それでは次の企業向けアンケートの説明をお願いしたい。

#### ○資料2－3の説明（事務局）

##### 〈質 疑〉

委員長 企業向けアンケート(案)について説明いただいたが、委員の皆様、ご意見、ご質問等はあるか。

委員 「貴社について」ということについて。対象は伊賀市内に所在する事業所のことだと思うが、伊賀市以外に本社機能があるところがたくさんあるので、誤解を与えないようにどこかで特定いただきたい。

事務局 そのように特定できるように記載したい。

委員 5ページの問19「外国人従業員に対して、通訳を介すなど外国人従業員が理解できる方法で、日本語教育を行っていますか」について、「理解できる方法で」というのは、通訳を介すことやプロの日本語教師による教育などという意味だろうか。最初に読んだときは通訳を入れないとだめなのかと思ったが、「など」と記載されているので、ちゃんとした日本語でといった意味合いなのか。

事務局 問17や問18の難しい説明をするときに「通訳を介すなど」という文言を入れているが、ここでは削除したい。「外国人従業員に対して、日本語教育を行っていますか」と修正したい。

委員長 その他に何かご意見、ご質問はないか。企業関係者の方はよろしいか。

委員 5ページの問21「どこで教育をされていますか」について、「社内で」や「派遣元で」など選択肢にあるが、「社内で」の中には社内講師、社内の先輩や会社の通訳などが教えている場合と、その他に外部講師の場合がある。私のところでも日本語講座をしており、企業に派遣をしているが、そういう場合はどこに入るのかをお聞きしたい。「その他」になるのか、会社が発注しているので「社内」になるのか。

事務局 大きく教育という分野を訊いているので、社内であれば外部に来ていただく場合も入る。

委員 同じ問のところで、「市内のボランティア教室に通わせている」とあり、おそらく日本語の会話をメインにしていると思うが、ボランティア教室かどうかわからないと思うので、「日本語教室」のほうが伝わるのではないか。通うというと、私のところだけになる。

委員長 具体的に「日本語教室」と書いたほうが良いということで、修正をお願いしたい。その他の委員の皆様、オンラインの委員の皆様、いかがか。

- 委員 「貴社に」ということだが、株式会社組織でない団体もかなりあると思う。例えば社協であったり、社会事業協会であったり、それぞれの法律に基づく団体もある。商工会議所等では「事業所」という言い方をしており、「貴社」には当てはまらない。その辺りはいかがか。
- 事務局 企業様向けに幅広く訊くため、そのように変更したい。
- 委員長 これは、伊賀市内のすべての事業所に送るのか。
- 事務局 無作為抽出で、日本人が2,000、外国人が500、事業所向けに100をはがきでは送らせていただくが、ホームページ等で是非回答したいという方はそれ以上回答していただける。こちらから通知してお願いするのは、日本人2,000、外国人500、事業所100を送らせていただく。
- 委員長 これは、はがきにQRコードが載っているような形か。期間はどれくらいか。
- 事務局 約1か月ぐらいを考えている。今の計画では、アンケートの調査結果を集計し、2月末には報告書を作成していただくようお願いしている。そのためにも、集計作業が膨大になるので、できればQRコードを読んで答えていただくと、集計表にすぐ反映されるので、集計作業が早くなる面でもそういった形で回答をお願いしたいと思っている。
- 委員長 QRコードでの取組は初めてになるか。前にもあったのか。
- 事務局 総合計画のまちづくりアンケートでも今年QRコード、ネットでのアンケートに取組んでいる。
- 事務局 昨年の国勢調査についてもQRコードでも回答できるようにしており、最近、そういった形でできるものが多くなっている。
- 委員長 確かにネットでのほうがやりやすいところもあるので、回答率が上がると良い。他に何かあるか。オンラインの皆様もどうか。それではないようであれば、提案通り、いろいろと修正はしないといけませんが、3つのアンケートについては以上とさせていただきます。

### (3) 団体ヒアリング調査について

#### ○資料3の説明(事務局)

##### 〈質 疑〉

- 委員長 委員の皆様から何かご意見、ご質問はあるか。オンラインの皆様もいかがか。ないようなので、提案通り進めていただいてもよろしいか。それではそのように進めていただきたい。
- 事務局からその他についてお願いしたい。

## 4. その他

##### 〈質 疑〉

- 委員長 まだ時間があるので、委員の皆様が取組まれていることで、ご意見、ご報告等があればお願いしたい。

委員

今日はありがとうございました。大変勉強になった。その中で少し感想を述べたい。プラン策定のスケジュールでは、プロセスはこんな感じだとは思いますが、民間からすると時間をかけすぎの感が否めない。2年間でもいろいろなことが起きる可能性があり、コロナ、経済環境の変化などがあり、それをどのように修正、吸収していくかというところでは、中間案の確認が非常に重要になり、最終案に繋げていかなければならないと感じた。基本理念については、このようなことを言ってもいいのかわからないが、役所にしてはすごく良くできていると思った。具体的かつ明確な目標があった。4本柱での設定も明示されており、それぞれにやるべき姿、目指す方向がわかるといった。とくに、4本柱に分かれていたが、その中で、役所には向かないかもわからないが、KPI指標、具体的なターゲットとゴールをつくるとこの活動がより明確になり、やっている我々にも励みになっていくと感じた。アンケートについては、全体的に内容はきちんとされていて非常に良いと思ったが、ポイントは、訊いて終わりにならないように、具体的に書いていただいた人に何らかの是正や反映が見えるものにすれば良いと思う。ただ訊いて終わるだけでは不安が募るだけなので、そういったアンケートにならないようにしていかなければならない。具体的に、何か目に見える形でアンケートが反映されれば良い活動になっていくと思う。理念と4本柱があり、具体的な活動をするための優先順位付けになるようなアンケートになるようにすれば良いと思った。このアンケートの中でKPI的なもの、指標をつくって、例えば伊賀の皆さんが愛着を感じて溶け込んでいるというのがアンケートにあるが、これをどういう指標で図るのかというところがアンケートの中で明確にしていくと良いのではないかと。例えば、社会的不利益を被ることがないということも、アンケートの中でどうなっていればこれが達成できたか、KPI的な、そういったものがあると我々にも確認になるし、それが確認できるアンケートになると良いと思った。個別のアンケートについて、これは意見なので別に反映していただかなくても良いが、外国人向けのアンケートは日本語でアンケートをするわけではないのか。

委員長

はい、全部翻訳される。

委員

これはどのようにやるのか、インターネットか、それとも紙か。

事務局

インターネットで答えられるQRコードを、ポルトガル語ならこのQRコードを読んでアンケートに答えて下さいという形で出す。多言語の情報を出しているホームページと、多文化共生センターのFacebook等があるので、そちらで広報するのと、はがきでもQRコードを読んで答えて下さいということが多言語で入れたものを送る。

委員

アンケート7ページ問29「あなたは今後、日本人とどのような交流機会があるといいと思いますか」というところと、言い換えると逆に「参加しますか」と言う訊き方になっているところもあり、どうせなら「参加してみたいと思いますか」に統一した方が良いのではないかと考えた。

委員長

ありがとうございます。事務局、いろいろご提案やご意見があったが、それに関してどうか。



事務局 民間と考えると時間がかかっているということはあるが、市がかかわる中で、議会、それから、市民すべてがオール伊賀市で取組んでいくための周知期間、計画の意見、パブリックコメントをとる期間もある。時間がかかるが、いろいろな要素がコロナ禍の中であるので、その時点時点で修正をしながら、できるだけ早く策定し、実行に移していくことが大切なので、そのように進めていきたいと考えている。

指針も市だけでやっているとういう書き方はできないが、指針にかかわっていただいた各種団体の皆様のご理解の中で策定したもののなので、このような形で公表できたと考えている。4本柱の目的、ターゲット、KPIの関係だが、アンケートをとった後に事業など何をしていくべきかというところがある。その中でも、すぐできるもの、少し時間のかかるもの、お金のかかるもの、いろいろあり、それぞれの団体が取組んでいく中で、連携するものもあるので、その中でそれぞれが持つべきターゲットやKPIを設定していきたいと考えている。

アンケートの内容等についてもご意見をいただいたので、もう一度見直す中で、反映すべきものについては反映していきたいと考えている。

委員長 ありがとうございます。その他の皆さんはご報告や行われている取組等で共有したいトピックス等はあるか。

委員 反映させたアンケートは、もう一度諮っていただけなのか。

事務局 案を皆様にお示しし、ご意見を訊きたいと思う。最終的には委員長、副委員長にご承諾いただいた中で、発送したいと考えている。

委員長 発送はいつ頃になるのか。

事務局 12月ぐらいに発送できればと思っている。

委員長 もしこれはどうしてもということがあれば、1週間以内に、事務局に電話かメールでお願いしたい。